

まちづくりニュース

発行・企画編集：豊田駅南口周辺地区まちづくり協議会(会長：増島 清人)
編集協力：日野市まちづくり部区画整理課 (TEL：042-585-1111 内線3252)

地区まちづくり協議会設立後の活動について

地区まちづくり計画(デザインガイドライン)策定に向けて検討中!!

協議会では、2月の協議会設立後、新規入会のメンバーも含めてあらためて委員からの意見を集め、また策定後の運用を想定したワークショップを実施するなど、『地区まちづくり計画(※1)』のとりまとめに向けて協議を進めています。なお今後は、日野市まちづくり条例に基づき、地区まちづくり計画について地域の皆様からのご意見をお聞きするための説明会の実施に向けて、協議会として最終的な取りまとめを行っていきます。

説明会は11月7日(土)を予定しています。詳細は、改めてまちづくりニュース等にて、お知らせいたします。

＜※1地区まちづくり計画とは？＞ (日野市まちづくり条例 第15条より)

一定のまとまりをもった土地の区域において、地区住民等が、当該区域を対象として、良好なまちづくりを推進するために策定する計画をいう。

まちのイメージ検討中『カワセミを呼ぶまちをつくろう』



地域一丸となり、まちづくり活動に励むため、この地区のスローガンを“カワセミを呼ぶまちをつくろう”としてはどうかと考えています。カワセミは、宝石の“ひすい”のように鮮やかで、飛ぶ宝石として愛されていること、日野市の鳥として象徴的な存在であること、羽色(ブルー・オレンジ・グリーン)の3色が多くの方に豊田のイメージカラーとして意識されていることから、カワセミも来なくなるような商店街、地域、街になって欲しい、という願いを込めました。

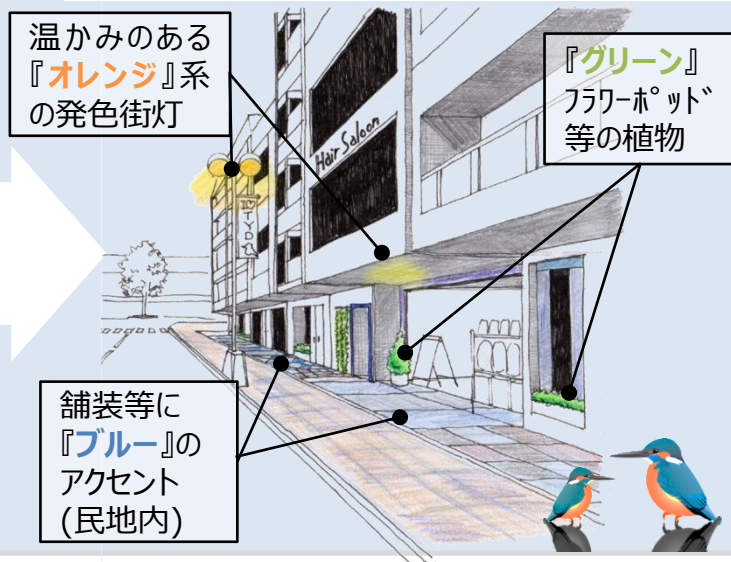
また、あまりお金をかけなくても、地域の皆様のほんの少しずつの協力で街全体のイメージが良くなるように、街並みのデザインに豊田のイメージカラー(※2)を取り入れていきたいと考えています。

＜※2 豊田のイメージカラー：カワセミカラー とは？＞

- ① **ブルー**：多摩丘陵にかけて広がる豊田の青空や、豊かな清流を象徴する色
- ② **オレンジ**：夕暮れ時の光のように、人をやさしく包み込み、J R中央線を象徴する色
- ③ **グリーン**：豊田南の崖線の緑地や“むこう山”(多摩丘陵)の豊かな緑を象徴する色



カワセミカラーを取り入れた街並みのデザイン(案)



5/30・31 豊田ふれあいフェス第4弾を開催しました！

4回目となる“豊田ふれあいフェス”を5月30日・31日の両日、豊田駅南口特設会場にて、開催いたしました。

30日はまちづくり協議会の主催にて「TOYODAクラフトビールまつり」と題し、最近話題になっているクラフトビールを国内・海外から20種取り揃えました。またビールに合うおつまみとして地域商店、住民の方に模擬店を多数出店いただき、非常に賑やかなお祭りになりました。当日は天候にも恵まれ豊田・多摩平周辺だけでなく、立川・八王子からJRを利用して来店される方もおられ、予想を上回る約1000名の方々にお越しいただくことができました。ちょうど今年の7月には多摩地域初のビール醸造であるTOYODA BEERの復刻発売が予定されていたため、告知を兼ねて王冠デザインの人気投票が行われました。（7/26発売初日に開催されたよさこい祭りではビール1350杯が売れ、とても好評だったようです😊）

また、通学で豊田駅を利用する大学生達によるネパール災害支援のための手作り餃子が出店し、イベントに華を添えました。

翌31日は恒例となっている豊田商店会主催の「豊田わくわく市」にてブースを出店し、区画整理の進捗報告や意見交換を来場者の方と行いました。



▲ 当日の豊田ふれあいフェスの様子



▲ 協議会による豊田の将来を示した模型ブースの展示



▲ こども達が楽しそうに路上に落書きをしている様子



▲ 大学生達による手作り餃子販売

「豊田ソラカツ」メンバー募集中！

豊田駅南口の区画整理が進む中、街かどに点在する空き地や空きスペースを将来のまちづくりに向けて活用しようとプロジェクトが誕生しました。豊田駅南口周辺空き地活用プロジェクト＝通称「豊田ソラカツ」です。豊田駅周辺のまちづくりに関心をお寄せいただいている方であればどなたでも参加可能です。楽しいまちづくりを行動で表現したい方、より深くイベントに関わりたい方、ご参加お待ちしております。お問い合わせの協議会委員等へ、お問い合わせください。

～ 豊田駅南口周辺地区のまちづくりについて ～

わたしたちのまち豊田駅南口周辺地区は、土地区画整理事業により道路整備とあわせて建物移転が進み、いよいよ、“まちの顔”となる駅前周辺の整備の時期を迎えています。

まちの運営を全て行政に任せるのではなく、住民が積極的にまちづくり活動に参加することによって、住民が望むより良いまちづくりを行うという考えのもと、“地元密着のまち”をまちの将来像に、年間を通してまちづくりに関する会合や勉強会を行っています。

住民主体のまちづくりを進めるため、平成26年10月、日野市まちづくり条例に基づく「地区まちづくり協議会」の申請書を提出し、この度無事、日野市内で初の「地区まちづくり協議会」として認定を受けることができました。これからもよろしくお願いします！



定期的に
集まって
検討して
います！



検討範囲：
豊田南地区地区計画
“店舗地区A”の範囲

壁面位置制限
(1階部分1m以上)